

解 答

- 一 問一 ① 長州
 ② 戦に敗れ、見廻り組に見つかりつかまってしまう。
 ③ 4
- 問二 1 問三 4 問四 3 問五 1 問六 2 問七 3 問八 2
 問九 1 × 2 ○ 3 × 4 ○ 5 ○ 6 ×
 問十 遅刻しそうだったので弁当をわしづかみにして家を飛び出した。
 問十一 4・5
 問十二 〈解答例〉 弁吉の投げた夏だいを見た兄の胸には、故郷をはなれるときにいただいていた「自分の思いどおりに生きてみたい」という思いがよみがえってきたのではないか。ほこりを取りもどし、堂々とした態度で死に向かう兄の後ろ姿や、その兄が残っていた夏だいは、これからひとりでどう生きていけばいいのかと、とほうに暮れていた弁吉に「おまえも自分の道を歩め」と告げていたのだと思う。
- 二 問一 常にゆれ動く網膜に映像を定着させる。
 問二 a 未知の物事を心の中で思い描く力
 b 新しいものを初めてつくり出す力
 問三 2
 問四 考えてもわからないようなことに興味をもって考えること。
 問五 錯覚が生まれにくくなること。
 問六 緊張すること。
 問七 3・5
 問八 人間は想像力によってものの見方をあいまいにできるということ。
- 三 1 標識 2 美談 3 給湯 4 徒労 5 治 6 ひたい 7 いちがん 8 かま